



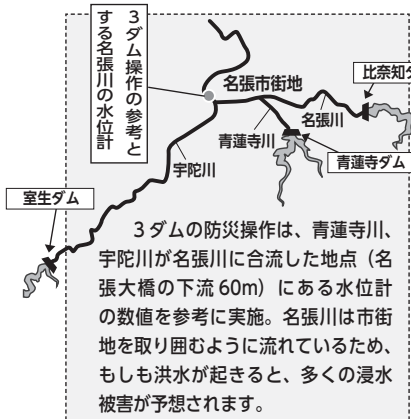
ケータイ

2011年(平成23年) 10月9日発行

主な内容

- 2……かがやきフェスタ、東山墓園使用者募集
- 3～6……15の地域づくり組織がつくる「地域発信！ふるさと便」
- 7……名張保護司会便り 8……健康エブリデー、11月の相談

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



青蓮寺・比奈知・室生ダムなどの流入量、放流量、水位は、木津川ダム総合管理所で常時監視。ダムからの放流量を調整することで、川の水位を調整し、川のはん濫を未然に防いでいます。



ダムと台風

川のはん濫を未然に防ぐダムのチカラ

台風などによる豪雨で、川のはん濫などが心配される際、青蓮寺ダム・比奈知ダム・室生ダムが、名張川の水位を調整していることをご存知でしょうか。

これは、ダムの「防災操作」と呼ばれ、9月に、紀伊半島で多大な被害をもたらした台風12号

接近の際には、3つのダムが連携して実施しました。その結果、名張川の「はん濫危険水位」への到達は回避されました。

今号では、台風などがもたらす豪雨被害を防ぐためのダムの役割をご紹介します。

園危機管理室 ☎63・7271

水防対策の一つとしてダムの「防災操作」を実施

現在、水防対策として、国により河川堤防の改修や砂防ダムの設置などが進められています。また、市では、平成24年度に、各地域の危険箇所などを示した「洪水ハザードマップ」を更新する予定です。

河川増水時には消防団などが河川を警戒。必要に応じて土のうを設置するなどしています。さらに、水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する青蓮寺ダム・比奈知ダム・室生ダムが、水位上昇を抑える役割を担っています。

ダムに流れ込む水量の一部を溜め込み、流入量よりも放流量を抑えてから、ダム下流の河川に流します。これは「防災操作」と呼ばれ、複数のダムが連携して実施することで、大きな効果を発揮します。

9月に接近した大型の台風12号

は、強風と豪雨をもたらしました。この台風が接近した際、3つのダムが連携して「防災操作」を実施。その結果、名張川の最高水位は、「はん濫危険水位」とされる7.60mを下回る7.35mに抑えることができました。

もしも、ダムがなければ、最高水位は7.91mであったと木津川ダム総合管理所では推定。これは、名張川がはん濫する危険性が高まっていたことを示しています。さらに、名張市災害対策本部に木津川上流河川事務所から職員が派遣され、河川の増水状況などを、リアルタイムで詳しく報告いただきました。

河川増水時、市の災害対策本部が、市民の皆さんに避難勧告などを出すべきかどうかは、気象予測や時間帯、そして増水の推移などを考慮しながら、的確に判断する必要があります。今後も、市では、水防にかかわる機関と綿密な協力体制を築き、被害を最小限に抑えられるよう取り組んでいきます。

台風接近時などに、ダムの上下流の雨量予測やダムへの流入量予測などから、名張川の水位を予測しますが、各ダムによる個々の防災操作では、水位上昇を抑えられない場合もあります。こうした場合、貯水量が満水に近づいたダムは放流を増加させる一方、他のダムで放流を減らすなど、3つのダムが連携して、名張川のはん濫を抑えます。予測は時々刻々と変化しますし、ダム下流に降る雨の影響もあるので、操作の判断は難しく、かなり神経を使います。

3つのダムでは、6月中旬から10月中旬までの期間、ダムの水位を下げて、梅雨や台風による洪水に備えています。また、青蓮寺ダムでは、台風など降雨量の増大が見込まれる場合、さらに事前に水位を下げます。

ただし、豪雨により、いずれのダムも満水状態になり、貯水できなくなると、流入した分だけ放流することになります。このように、ダムの防災操作には限界があるものですが、今後も、検証データの蓄積や操作の訓練を重ね、より的確な防災操作を目指していきます。

